

【事例報告】

労働者協同組合キフクト

JILPT労働政策フォーラム

2024年6月19日

キフクトについて

組織および事業の概要

【組織概要】

名 称：労働者協同組合キフクト

設 立：2023年4月3日

組合員数：7名（員外監事1名）

出 資 金：60万円（1口1万円、3口以上）

事業内容：造園・緑化

売上高：300万円（2023年度実績）

エ リ ア：神奈川県・東京都

※2024年3月末時点



【仕事の風景】



【組合の多彩なメンバーたち】



大手住宅メーカーに長年勤務



東京農大出身のガーデンデザイナー



15年の現場経験を持つガーデナー



NPOなど幅広く活動するアーティスト



生活協同組合での活動経験者



フルタイムで園芸職に従事中



アイアンを扱う鍛冶職人

設立の背景

なぜ労働者協同組合を設立したのか

【設立の背景】

【市場の飽和と延命策としての新自由主義】

- ・ 地理的拡大
- ・ 需要創出
- ・ コスト削減
- ・ 規制緩和

大量のゴミ
気候危機
資源の乱獲
人権軽視
ブルシット・ジョブ
労働条件悪化
お金の力の増大 etc.



「社会的連帯経済」

市場原理とは異なる
経済活動のあり方

労働者協同組合

Worker Cooperative

【働きづらさ、生きづらさ】

- ・ フリーランス（個人事業主）の不安定さ
- ・ 組織に属して働く不自由さ



「コモン(共用財)の再生」

共同体というセーフティ
ネットを編むこと

運営の実際

フリーランスのプラットフォームとしての視点から

【複数の選択肢】

- ・フリーランス（個人事業主）の不安定さ
- ・組織に属して働く不自由さ

株式会社等の共同経営

フリーランスによるユニット

労働者協同組合

事例① 合意形成

- ・ 毎月1回の定例ミーティング（対面式）
- ・ SNS、チームウェア等を活用した情報共有
- ・ 多数決を採らない（全員が納得するまで決めない、勝ち負けをつくらない）
- ・ 100%考えが同じになることはないという前提から始める
- ・ 「三人寄れば文殊の知恵」的な考え方の支持

共同体の存続を利益より優先させる

事例② お金の分配

- ・現場の日当は、経験・技術によらず同じ（人事評価をしない）
- ・職長手当など、仕事の量と責任の重さにより手当有り
- ・設計や施工管理担当者への分配は都度話し合い

能力主義・成果主義への批判

事例③ 仕事の分担

- ・ 個人が希望しない限り、役割を固定しない
- ・ 各メンバーのライフスタイル、働き方が多様なため、公平な分担は想定していない
- ・ 各業務をプロジェクトとして捉え、チームで作業にあたる

強制はせず、各自の希望を尊重する

事例④ 仕事のつくりかた

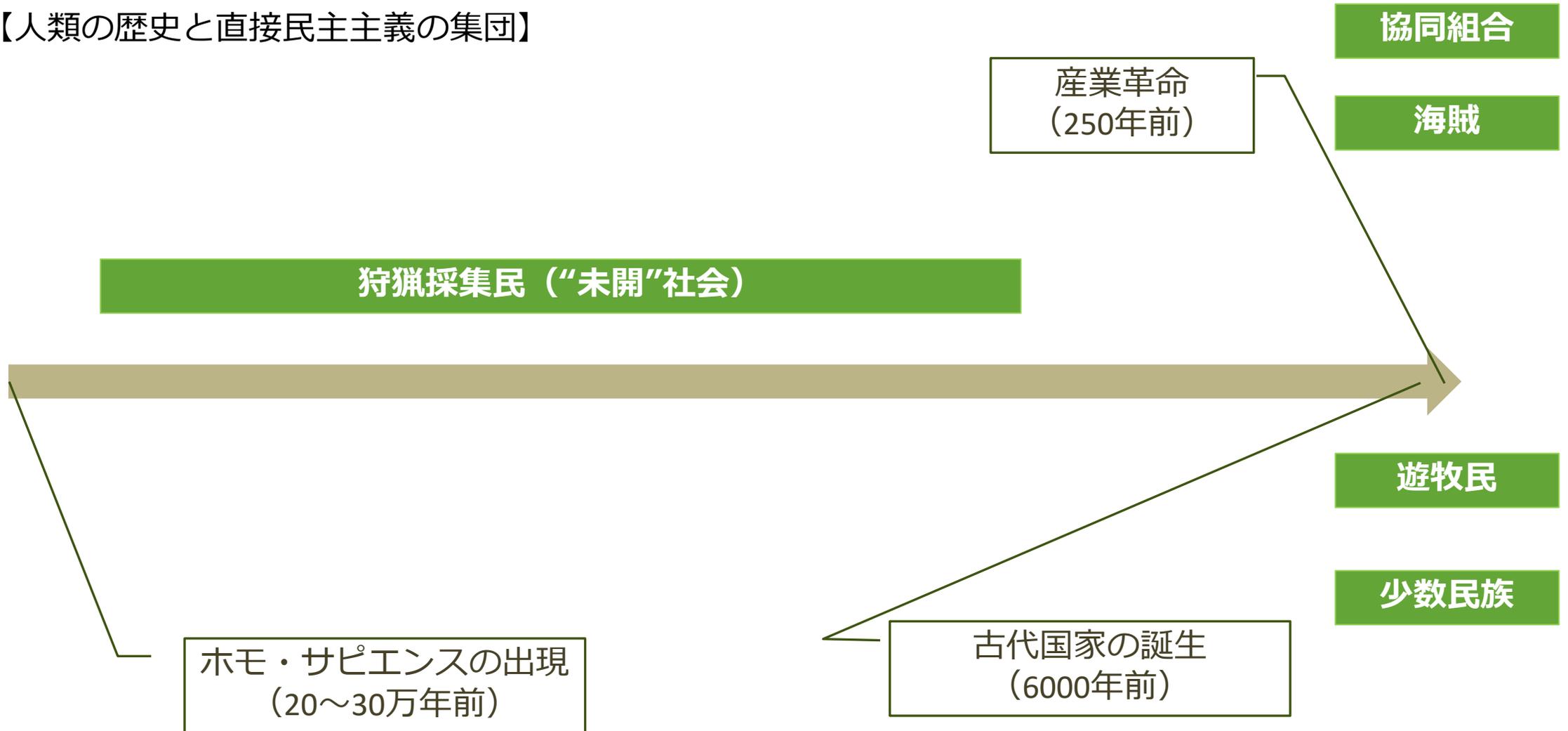
- ・ 紹介による仕事が多数を占める
- ・ 労働者協同組合同士の協力
- ・ 地域、行政との連携

既存の経済のなかにもう一つの経済圏を立ち上げる

海賊の遺産

キフクト運営の理念の背後にあるもの

【人類の歴史と直接民主主義の集団】



【“未開”社会、海賊、協同組合】

“未開”社会の特徴

多数決の原理を認めない
(競争忌避の傾向)

数十人から数百人の小集団で、人口が増えた場合は、同規模の2つの集団に分裂する

あえて進歩しない社会
(低エントロピー社会)

労働の意味 = 個人の実現、周囲からの敬意、道義的社会的威信、人間と自然および超自然との調和の実現

“野生の思考”
(クロード・レヴィ＝ストロース)

海賊の掟

乗組員全てに投票権・投票発起権を与える

いかなる時でも戦利品の食糧と酒に対する平等の権利を有し、随時飲食してもよい

戦利品について、船長は1.5人分を分け前とする。航海長、船大工、甲板長、掌砲長は1.25人分とする

戦闘時に四肢を失った場合には600銀貨を与え、望む限り乗船し続ける権利を与える

ロッチデール原則

剰余金の分配

組合員の平等 (1人1票)

政治的・宗教的中立

現金取引

品質の純良

適正な価格

組合員の教育促進

【なぜ労働者協同組合なのか（キフクト設立趣意書より抜粋）】

私たちにできるのは、「今」「ここ」に小さなスケールで、理想とする社会を手作りすることだと考えます。そこは、一人一人の違いを尊重し、多様であることを肯定する場です。競争よりも相互扶助を重視する場です。お金だけを頼みとしなくても安心して暮らしていけると信じられる場です。合意形成を重んじる民主主義の場です。働くことに喜びと意義を見出せる場です。利益のために自然を破壊することのない場です。利益のために遠い国の人々を収奪することのない場です。

こうした社会は、時代と場所をまたいで、人類が築いてきた各地の文化の中に観察されるものであり、むしろ、利益の最大化を優先し人間や自然から収奪を続け、成功も失敗もすべて個人の責任として処理する現在のシステムのほうが、人類史から見れば異端であると言えます。この特異な、しかし強く私たちのものの見方や考え方を規定している現行のシステムの渦中であって、どうにかして上に挙げたような人間らしい生き方をしたい。そうした思いを実現するために、私たちは、皆で出資し、皆で働き、皆で運営する労働者協同組合という組織形態を選択しました。



Thank you !

労働者協同組合キフクト

<https://kifukuto.com>